

ブラックは人工衛星が浮かぶ壮大な漆黒の宇宙空間を、黒の中に効果的に配置されたゴールドカラーは人工衛星に反射して輝く太陽の光を、リングパーツは人工衛星が周回する軌道を表現した

# カラーに宿る

暗闇に輝く光のように！

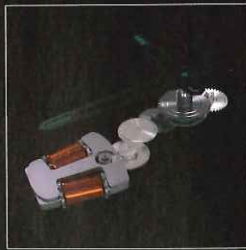


## 絶妙に配された挿し色のピンクゴールド

シチズン  
アテッサ エコ・ドライブ  
GPS 衛星電波時計  
**F900 CC9016-51E**  
25万9200円



(左) 光を透過させて光発電するためにポリカーボネートのダイヤルは半透明。発色の加減が大変で、特に黒を出すのはとても難しいとされる。(右) 時針、分針用に新たに開発された「高速ツインコイルモーター」。これにより、正回転、逆回転ともに高速で回すことができる



GPS衛星からの受信時間を世界最速の最短3秒\*で行える技術「サテライト ウェーブ」を搭載したムーブメントを採用。このモデルでは、受信速度はそのままに、受信してから1時間分の針を動かすのにわずか2秒\*という速さを実現。デュアルタイムやクロノグラフ、アラームなど6つのモードを載せたハイスpekモデルでもある。スーパーチャタニウムケース、ケース径43.5mm(設計値)、クオーツ



シチズン時計  
シチズンブランド事業部 デザイン部  
シチズン デザイン スタジオ  
チーフデザインマネージャー  
**井塚崇史さん**

革新的なテクノロジーを搭載するアテッサシリーズのチーフデザイナー。ヴィンテージ・ウォッチ好きでもある

「試行錯誤したのは、色の仕上げ、2色の面積のバランスです。艶やかな色気のある時計にしたかったんです。ピンクゴールドを採用したラグからサイドにかけては、ヘアラインとポリッシュのコントラストが綺麗に出るようにしました。切子の斜面の角度が少し変わるだけで印象が違ってくるんです」

繊細な作業を経てブラック&ピンクゴールドは美しく融合。エレガントな1本になった。

昨 年登場して好評を博した「アテッサ F900&F150」から、ブラックとゴールドのコンビモデルに新作が登場した。ゴールド部分はピンクゴールド。シチズンには珍しい配色である。結論からいうと、とても精悍で格好いいのである。「光発電のGPSウォッチなので、漆黒の宇宙空間をイメージしました」チーフデザイナーの井塚崇史さんは、これを表現するために、ブラックをベースに挿し色としてピンクゴールドを使ったのだという。

\*光発電GPS衛星電波時計として。 2015年9月現在、シチズン時計調べ



# シチズンの美意識

シチズンがGPS衛星電波時計に新たに採用した色は「ブラック&ピンクゴールド」。時計においては珍しいコンビネーションではない。シチズンは「暗闇に輝く光」というテーマで、シチズンならではのこだわりを持ってそのカラーを使う。配色に込めた思いをチーフデザイナーに、色彩効果の解説をカラーコーディネーターに聞いた。そこにはカラーに宿るシチズンの美意識が隠れていた。

文 福留亮司 写真 奥山栄一 (CUVA CUVA)

ピンクゴールドは日本人にとって肌馴染みが良い色とされている。色気のあるピンクゴールドの絶妙な配分は、休日はもちろん、昼間の商談や夜の接待などビジネスシーンにもマッチする



## とても相性が良い コンビネーション



シチズン  
アテッサ エコ・ドライブ  
GPS 衛星電波時計  
**F150 CC3014-50E**  
21万6000円

時刻、日付といった時計本来の基本機能に特化したシンプルモデル。GPS衛星からの時刻情報を世界最速\*で受信し、ダイレクトフライト機能を使うことによって、世界40のタイムゾーンで素早く正確な時刻が得られる。また衛星電波を受信しない時でも、独自の補正システムによって月差±5秒という高精度を実現。7-8時位置のインダイヤルで充電残量表示とモード表示を行う。スーパーチタニウムケース、ケース径43.5mm(設計値)、クォーツ



(左) GPS受信やワールドタイムなど多機能を搭載しながら、薄く作られたケース。さらに薄く見えるように、そして、装着しやすいように側面はそろばんの珠(たま)のような形になっている。(右)丁寧に面取りされたラグ。この仕上げのバランスがケースの美しさの決め手となるのだ



日本カラーコーディネーター協会 (J-color)  
カラーコーディネーター  
桑野恵美さん

一般社団法人日本カラーコーディネーター協会 (J-color) 認定講師。企業セミナー、カラー検定講座をはじめファッション関連にも精通

「絶妙にスパイ的な配分で、ケースサイドとインデックスに使っていると、ある程度の節度を持って、というのが感じられますね。色の彩度が抑えられている分、そこに品格が生まれています。プライベートはもちろん、ビジネスでも使いやすい色だと思います」

「ブラックは強くてシャープなの、ピンクは柔らかいというイメージで、どちらかというところ、ハードな印象を人に与えやすい色です。挿し色に使っているピンクゴールドは、あくまでもピンクなのでソフトな印象になります」

そう語ってくれたのは、日本カラーコーディネーター協会認定講師、桑野恵美さん。このコンビネーションは相性が良いという。

「ハードなブラックとソフトなピンク。そのコントラストはメリハリが出やすく、ダイナミック、シャープ、革新的というイメージです」

さらにピンクゴールドの配分が絶妙ともいう。